

関東・東京合同地区獣医師大会・三学会「市民公開講座」

ヒトとイヌの共生 これまでとこれから ～これからの愛玩動物看護師の果たす社会的役割について考える～

日時 令和5年9月3日（日）15:30～17:00
場所 ソニックシティ 小ホール（入場無料）
（さいたま市大宮区桜木町 1-7-5）



- 1 受付開始（15:00）
- 2 開 会（15:30）
- 3 挨拶（15:30～15:35） 公益社団法人埼玉県獣医師会 会長 中村 滋
- 4 テー マ ヒトとイヌの共生 これまでとこれから
～これからの愛玩動物看護師の果たす社会的役割について考える～
- 5 講 演（15:35～16:45）
講師 麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 介在動物学研究室
教授 菊水 健史 先生

内容 犬は最古の家畜であり、人類 20 万年の歴史において、その 1/5 程度を共に過ごしてきたパートナーである。また近年、ネコはその飼育頭数が犬を上回るほど、ヒト社会に広がってきている。これらの動物は単なるペットとしての価値を超え、家族の一員として、ヒトの健康や社会関係向上にも寄与することが明らかとなってきた。伴侶動物たちの健康と福祉を高めることは、すなわちヒトの Well-Being をも高めるものである。今回、ヒトとイヌの共生、そして今後期待されるその中における獣医療・愛玩動物看護師の果たす社会的役割についてお伝えしたい。

- 6 質疑応答（16:45～17:00）



- 7 閉 会（17:00）

- 8 その他

入場無料 どなたでも参加可能です。

当日、ソニックシティ 小ホール前の受付にお越しください
（先着順・定員 496 名）

主催：公益社団法人 埼玉県獣医師会